



住吉教会 2013年度テーマ

「殉教者の霊性を生きる」
—信仰刷新の年—

天からの運

赤波江 豊 神父

5月19日（日）は聖霊降臨祭です。聖霊とは何でしょうか。神学的には御父と御子の愛であると表現されますが、一般の人には分かりにくいので色々なイメージで表現されてきました。例えば聖霊降臨の出来事るとき祈っていた弟子たちの上に炎の形をした舌が降ったように火のイメージ（温める、闇を照らすなど）、イエスがヨルダン川で洗礼を受けられたように水のイメージ（汚れを洗う、渇きを癒すなど）、また復活したイエスが弟子たちに現れ息を吹きかけられたように風のイメージ（生命のシンボルである息、涼しさをもたらすなど）など、聖霊は私たちの心の闇を照らして温もりをもたらし、心の渇きと汚れを癒し、私たちの心に風のような爽やかさをもたらして再び生き返らせてくださいます。その他イエスがヨルダン川で洗礼を受けられたとき聖霊が鳩の形で降ったように鳩のイメージ（つばさを広げた姿が覆うイメージを与える）でも語られてきました。

私がローマで勉強していた時のことです。ある日、日本から司教団も参加した盛大なミサが聖ペトロ大聖堂で行われました。その日は晴天にも恵まれました。爽やかな気持ちでミサ後聖堂を出た時たくさん鳩が飛び立つ姿が目に入りました。その瞬間私は首筋に生ぬるいものを感じました。ぎょっとした私は思わず手で触れてしまいました。紛れもなくそれは鳩の○○だったのでした。こりゃ困ったなと思ったものの、気を取り直してこれは天からのウン（運）に違いないと受け止めました。ところがよく見たら前に立っておられるある司教様の肩にも白いものがついていてではありませんか……。私はどう注意したらいいのか分からなくなって言葉が出なくなってしまいました。しかし人のウン（運）を取ってしまうのは良くないと勝手に解釈して黙ってそのまま通り過ぎてしまいました……。あの時の鳩のおかげかどうか、私は運よく勉強を終えて日本に帰ることができました……。

聖霊降臨祭で復活節も終わりますが、聖霊がこれからも私たちに天からの幸運をもたらしてくださいように（できればきれいな方法で）……。

教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会維持費制度は日本の教会固有の信徒の奉仕です。対象は成人以上で 収入のある方です。不況等で困難な方もおられるとは思いますが、教会共同体を支え育てるため 可能な限りのご協力をお願いいたします。 神に感謝 (赤波江 豊神父)

2013年4月度カトリック住吉教会評議会議事録

1. 日時：2013年4月7日（日） 11：43～12：43

2. 場所：住吉教会会議室

3. 議事

(1) 星の園幼稚園からの教会施設使用申請について（プリント） 承認

(2) 東ブロック合同堅信式ミサ（5月12日（日）10時、六甲教会）について

現在6名。住吉教会での勉強会（赤波江神父様指導）及び六甲教会での合同勉強会、リハーサル。N副議長を中心に準備スタッフ構成。

(3) 神戸地区大会（6月9日（日）13時、淡路市しずかホール）

- ・ 当日9：30の住吉教会主日ミサ有り。
- ・ 50人乗り観光バス手配：議長。
- ・ バス代、教会会計から支出承認。但し、昼食場所等については現地調査の上、詳細決定。
- ・ プログラム：13：00～14：30ミサ（フォークミサ） 松浦司教様司式
14：50～ イベント
 - ①司祭、修道者の紹介、②バンブーダンス、③ふっこうのかけはし、
 - ④阿波踊り など
- 17：00バス出発、帰途へ。
- ・ 当日、住吉教会は献金集計当番。大会最後の会計報告に間に合うよう集計。
- ・ PRのTシャツ販売申込み受付
- ・ 4月28日現地で地区大会実行委員会開催（会場下見）K委員、T委員が出席。

(4) オマリー神父様金祝御祝

4月14日(日)オマリー神父様司式ミサ、のち皆でお祝い会。

* 今年度、評議会役員が減少しており、教会行事については評議会全体で連携・協力する旨、確認された。

(5) 地域協力について (T副議長)

- ・ 阪神淡路大震災以後、住吉仮設住宅運営委員会の構成員である地域自治会、住吉教会、地域ボランティアが連携し、仮設支援に取り組んだ際、住之江地区といろいろな行事で協力し、その後一時期自治会役員との関係が希薄になっていたが、今般震災当時の役員が復活し、今後に向けて新たな連携協力が成されることから、地域のお祭りとしてのだんじり改修費用募金に協力することになり支出承認。

(6) 各チーム代表よりの連絡、提案事項

- ① K顧問より： プリント参照。申し送り事項等。
- ② 茶話会について： ミサゴの活発化。会計を社会活動チームに戻し、開催スタッフを継続募集。回数を増やすことで輪が出来、宣教につながる。
- ③ HP委員会： 議長、副議長が出席し、運営を支援すること。
- ④ 養成チーム： 集会祭儀、病者訪問リフレッシュコース補講、4月29日
13時～16:15まで、神戸中央教会で開催。
- ⑤ 中高生会： 夏のキャンプ費用支援のため、ミサゴ(夏の期間)数回担当
- ⑥ 宣教チーム： 6月2日(日)ミサ後、終末期医療について(第2回)開催

4. 終わりの祈り 赤波江神父様

教会施設維持管理費の積み立てを始めました。

— 2013年4月から —

2006年6月の献堂から早くも6年半が経過しました。毎週土曜日の聖堂の掃除、月曜日のパウロ三木ホールの清掃、年2回（5月、11月）の清掃業者による清掃作業のお陰でいつもきれいに保たれており、感謝します。

一般的に建物は10年を目途に大規模な補修工事（メンテナンス）を行います。住吉教会では2016年頃に屋上防水工事、外壁の塗装工事、給湯器や空調機（GHP）の交換などを行う予定です。

献堂当時の長期メンテナンス計画では築10年補修費用を想定していました。

また、築10年補修だけではなく、その後のメンテナンスのために資金を蓄えておく必要があります。

住吉教会は財政的には今のところ特に問題なく運営されてはいますが、今後少子高齢化がますます加速していくことを考えますと将来の財政状況はだんだんと厳しくなっていくものと思いますので、今のうちに将来にわたる広範な補修の為の教会施設維持管理費用の積み立てをしたいと思い4月から始めています。

今のところ費用見積もりなどはまだ出来ていませんが、資金作りには信徒一人ひとり（子供たちも中学生・高校生・大学生も社会人も高齢者もみんな）がそれぞれの出来る範囲の中で、それぞれの方法で苦しみと痛みを分かち合いながら 「みんなで、主キリストがともにおられるみんなの教会を守っていくのだ。」 と力を合わせていくことが大事なことだと思います。

記

1. 教会施設維持管理費（営繕献金）募集

2. 献金方法：

原則として毎月、目的献金袋で献金していただきます。

（教会維持費と同じように）

3. 1か月当たりの金額：

特に定めません。ご自由に決めて頂いて結構です。

なお、この目的の為のご寄付や不定期的な献金もお受けします。

何かと出費がかさむところ恐縮ですが、いつまでも美しい教会を守る為に心を一つにして精一杯努力して進んで行こうではありませんか。

カトリック住吉教会 評議会